

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

| 事業番号 | 9 | 事務事業名 | 農道及び農業用水路改良事業 | 担当課 | 土木課 |
|--------------------------|--|-------|---------------|-----|-----|
| 評価結果 | 田川市要改善 | | 市の対応方針 | 改善 | |
| 外部評価 (事業仕分け)時の意見、要望など | <p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事をを行う順番について、緊急性や面積などの客観性はあるか ・何故、個人負担を求めないのか ・ある程度取捨選択しなければ全体が疲弊してしまう ・この事業の目標として「耕作放棄地を増やさない」というのは適切か ・転落防止施設など、一般向けと思われる事業と一緒にしていることに疑問を感じる ・田植えをする人も少なくなっている中で、維持していくことが必要なのか改めて考えてほしい | | | | |
| | <p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての農地及び施設を維持しようとするのではなく重点化するべき。そのためには計画的な再整備、維持管理が必要 ・中長期計画がない。経年劣化の要因と工事修繕等の単価上昇要因を踏まえて今後の必要経費をおさえていくことも必要。農家が減っていく数も計画も必要。 ・採択の基準がない。面積や緊急度などの基準がないため、恣意的な判断との誤解も生まれかねない。→毎年3,800万円～を工事業者にバラまく事業となってしまう。入札の方法も見直す必要がある。 ・大きな工事については、年次計画を立てて欲しい。 ・地主負担を検討。 ・安全性評価等を的確・計画的に。 ・この事業の枠の中で行うべきこととそうでないことの切り分けを明確に。 ・修理箇所250ヶ所→今年100ヶ所予定。全体の中での重点志向が改善へ繋がる計画(中長期的な計画)が欲しい ・中・長期計画を制作していく必要性アリ。農家の人員増減による用水路等の廃止、別手段の移行等、様々な思考性を持って計画を進めていく必要アリ。それによるコストダウンが見通せるかと。 | | | | |
| 行政改革 推進本部 決定内容 | <p>【事業の手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残要望箇所約250箇所の事業別の分類を行い、実態を把握した上で、個人負担金の賦課について検討する。 | | | | |
| | <p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌年度の予算には反映しない。 <p>【その他】</p> | | | | |